

1-3 園芸作物の高品質オリジナル品種の開発

農業試験場 野菜研究室 果樹研究室 花き研究室 生物工学研究室

成果のポイント

- 民間種苗会社との共同研究によるこれらの品種開発に取り組み、品質や収量が優れる新系統を選抜。
- 八重咲きのあじさい「パラソルロマン」「エンジェルリング」「プリンセスリング」を開発。

1 背景・ねらい

国内人口の減少に伴い、野菜、果物、花きの需要も低下傾向にあり、産地間競争がますます激化している。一方、農産物直売所等の交流拠点施設への来場者数は着実に増加しており、観光農園などに取り組む経営体が増加している。

これらのことから、産地間競争に打ち勝ち、多様な流通チャネルを通じた新たな需要を開拓していくため、本県園芸作物のブランド力向上が不可欠となっている。

そこで、省力的に周年生産が可能なならや「幸水」よりも早生等のなし、「るりおとめ」、「きらきら星」に続くりんどうやあじさいにおいて高品質なオリジナル品種を開発する。

2 成果の概要

(1) ならの新品種の開発

- ・平成26年から民間種苗会社との共同研究を開始し、当場所所有の両性生殖性「母：子房親」と民間種苗会社所有の「父：花粉親」を用いて交配を実施した（写真1）。平成27年からはほ場選抜を開始した。
- ・平成28年交配の系統の中から、「ゆめみどり」よりも品質、収量が優れた系統を選抜した（写真2）（これらの系統については生産力検定試験を継続実施中）。

(2) あじさい新品種の開発

- ・平成30年7月に「パラソルロマン」を、令和元年7月に「エンジェルリング」「プリンセスリング」を育成し、品種登録出願を行った（それぞれ平成30年11月、令和元年11月出願公表）。
- ・「パラソルロマン」は八重咲きの手まり咲きで花数が多い。花の色は中心部が淡紫ピンク色で外側に向かって色が淡くなる（写真3）。
- ・「エンジェルリング」と「プリンセスリング」は八重咲きのガクアジサイ型で、「プリンセスリング」の方が花は大輪である。花の色は赤紫色で白いふちどりが特徴である（写真4）。

3 成果の活用・留意点

(1) ならの新品種の開発

- ・ 今後は、平成 27 年以降に交配した有望系統（特に平成 28 年交配系統を中心に）から現地適応性検定試験を実施し、「ゆめみどり」に優る新品種の登録を目指していく。

(2) あじさい新品種の開発

- ・ 3 品種ともに八重咲きで希少性のあるあじさいであり、ギフト向け商材として期待できる。母の日向けに出荷するには、1 月下旬に定植し、最低温度 15℃で管理する。

4 具体的データ



写真1 いらの交配
(両性生殖性の母親に民間所有の花粉を交配)

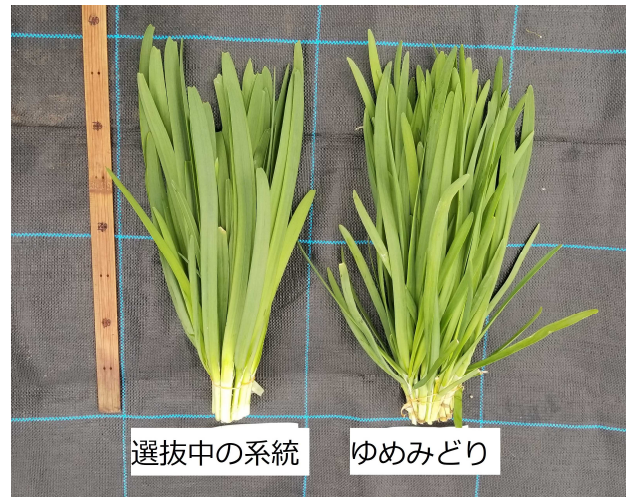


写真2 選抜中の系統（左：平成 28 年交配系統）
(葉の幅では「ゆめみどり」を大きく上回る)



写真3 「パラソルロマン」



写真4 「エンジェルリング」(左)と「プリンセスリング」